

助役就任あいさつ



小野町助役 松崎浩司
(まじつぎ ひろし)

私こと、去る6月14日の6月定例議会においてご同意をいただき、7月1日付けで町長の補佐役として、町民の皆様にお世話になることになりました。もとより微力ではありますが、小野町政の進展のため、精一杯努力する所存であります。

簡単に自己紹介いたしますと、昭和36年9月生まれの43歳。昭和60年県職員採用となり、これまでに総務部、保健福祉部、商工労働部、農林水産部、土木部の業務を経験してまいりました。この間、平成13年度から3年間、県中地方に勤務しております。小野町には何度かお邪魔して

おりましたので、小野町助役就任は何か深い縁があったものと感じております。

さて、時代は「地方分権」であります。未だ不十分であるものの、地方分権に向けた制度改革が具体化し、国から地方への流れが本格化してきています。今こそ小野町独自の取り組みを進めていくことが極めて重要であると思っています。

このような中にあつて、笑顔とがんばりの町をキャッチフレーズに、町民総参加のまちづくりを進める「戸良三町長の補佐役として、未来さわやか・自然と共生するあぶくま拠点都市」をつくるべく、誠心誠意頑張るつもりであります。

まだまだ若輩者でありますので、町民の皆様のご指導とご鞭撻をお願いいたします。就任にあたってのあいさつといたします。



こんにちは！ 町長です①

(小野町長 穴戸良三)

今月号から、「広報おのまち」にときどき所感を書かせていただきます。

先般、小野新町小学校の2年生のこともたちが役場探検にやって来ました。新鮮な目でいろいろな興味を持ちながら楽しげにやって来ました。素朴な質問や率直な考えはたいへん大切なことだと思います。

小野町の小学校の運動会も全校で終了いたしました。今年入学した1年生をはじめ、全児童が先生方の指導のもと、PTAの役員や保護者の声援をつけて元気に頑張っていました。

こどもは未来の宝です。磨くのも伸ばすのも、こどもの可能性については大いに大人の責任があると思います。家庭でできること、学校でできること、社会でできること、行政でできること、それぞれ調和をとりながら責任を持って進めることが必要だと思います。

特に行政では、幼児教育、幼児保育も含めて、広くこどもたちの教育環境に配慮して教育行政を進めていきたいと考えております。

まもなく、夏休みを迎えますが、スポーツ少年団、学校の部活動、学業学習面でも大切な時期になりますから、こどもたちは大いに頑張ってください。みなさんの活動を期待いたします。

なお、関係者の方々にはたいへんお世話になりますが、誌面上でお礼を申し上げます。



写真2点とも小野新町小学校役場見学